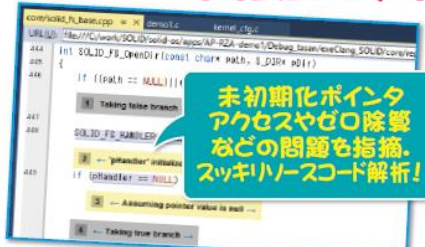


# SOLID ソフトウェア開発プラットフォーム

RTOSと先進のClangコンパイラ、そしてIDEを一体化し、開発者の快適性を追求した、組み込み向けソフトウェア開発プラットフォームです。

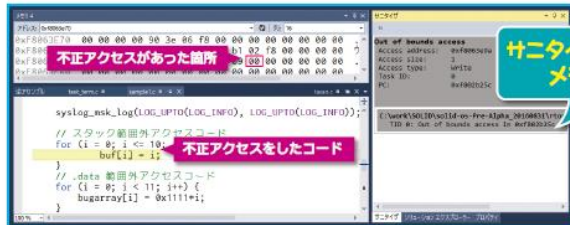


## 自動バグ検出で、デバッグ・テストコストを低減



- ソースコード静的解析機能を標準搭載
- ワンクリックで論理的な問題を検出

- MMUを活用したメモリプロテクションにより、スタックの突き抜けやデータ領域の実行などを自動検出
- アドレスサンタイザによる実行時メモリバグ検出により、バグのモグラ叩きが不要

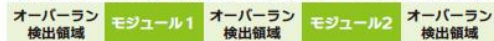


サンタイザモードでビルドするだけ、メモリバグも自動検出!

## チーム開発の悩みを解決

- アドレス解決可能なELFローダーが、モジュール間で外部シンボルを実行時に解決
- モジュール単体でのビルド、ロードとアンロードも可能
- メインモジュールはROMのまま、追加ELFのみを改変してソースデバッグが可能

①領域外アクセス検出などのデバッグ機能強化に活用



分散拠点での開発、デバッグ効率も劇的に改善!

②複数拠点での分散開発に活用



開発対象ではないモジュール、アドレスを固定してフラッシュに書き込んでおくことも可能

技術講演(16:40~17:00):

「ソフトウェアの信頼性向上を支援する RTOS統合開発プラットフォームSOLIDのご紹介」

講演のポイント:

産業FA機器では、高機能化や要求仕様の多様化に伴いソフトウェアが大規模化しています。信頼性向上に有効な静的解析・動的解析機能や、多拠点での分散開発に有効なソリューションなど、RTOSベースでありながら大規模ソフトウェア開発体制を念頭に置いた、“ソフトウェア開発プラットフォームSOLID”による開発・デバッグソリューションをご紹介します。

講師: 京都マイクロコンピュータ株式会社

東京オフィス ゼネラルマネージャ 辻 邦彦

## The Debugging Evolution

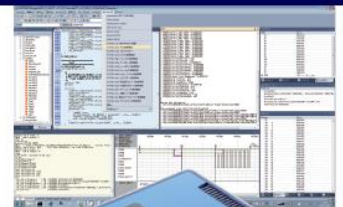
高機能 JTAG デバッガ

# PARTNER Jet 2

技術講演でさらに詳しく!

## デバッガソフトウェアアップデートで進化

<p>多様なプロセッサへの対応</p> <p>Cortex-A72や、Cortex-R7など最新プロセッサ対応もソフトウェアアップデートで利用可能</p>	<p>ハイパーバイザ対応 TrustZone対応</p> <p>ソフトトレースやプロファイルなどデバッグ・解析用機能の追加</p>	<p>Linux対応 デバッグ</p> <p>マルチコアデバッグ SMP対応デバッグ</p>
<p>Eclipse対応</p> <p>Renesas e2studio, Xilinx SDKなどで利用可</p>	<p>ETR(システムRAMでのトレース)や HSSTP(高速トレース信号)など、多様なArmトレースに対応</p> <p>Pythonスクリプトなどもアップデートで機能追加</p>	



異なるコアに異なるOS



同種のコアに異なるOS



SMP CPUに、SMP OS



SMP CPUに、複数のOS

## 解析に強力な高速・大容量トレースモデル

8Gbyteトレース メモリ搭載のModel30	高速トレースプローブ (5Gbps HSSTPプローブ)
-----------------------------	---------------------------------